2025年注目のキーワード

描くを楽しむ

▼19面より

ペンを重ねても、きれいにインクが発色する。それぞれのマーカーペンと細ペンのインクの化学反応によってきれいに発色し、滲まずに重ね書きができる仕組み。

それぞれ1色だけでも書くことができ、ツインマーカーとしても使える。

《全8種、単色275円、8本セット2200円（税込）》

三菱鉛筆　多彩な表現ができる色鉛筆

■十人十色、一人ひとりに合った多彩な表現を楽しめる軽い力で発色よく描ける色鉛筆「toironoトイロノ」は、「十人十色、多様な表現に寄り添える存在になりたい、暮らしやコミュニケーションが豊かになる色の楽しさを伝えていきたい」という想いを込めた商品。太くやわらかい芯を採用することによって、従来の色鉛筆よりも濃淡やグラデーション、重ね塗りがしやすく、濃い色の上からでも発色よく描けるように設計されている。さらに、色相、明度、彩度についての説明書きを付属しており、日常的に描くことに親しみがない人でも、多彩な表現を楽しむことができる。表現の幅が広がることで描く楽しさが一層増す。

パッケージでは、プラスチック製のトレーに色鉛筆を並べて収納しており、そのトレーを紙製のスリーブに入れて保管する形を採用。絵を描くときには、スリーブからトレーを取り出して広げることで、必要な色をすぐに見つけて使うことができる。

新しい色鉛筆「トイロノ」

スリーブの内側には、広島・長崎および沖縄に贈られた「折り鶴」を原料として配合した紙カラフルウイッシュを使用。

《単品250円、12色セット2640円、24色セット5280円（税込）》

墨運堂　SNSで拡がり墨ベースの絵具

■墨づくりの技術から生まれた新絵具「絵墨（えずみ）」は、墨と同じ成分から作られた、全く新しい淡彩画用の絵具墨。奥深いモノトーンの世界を表現できる。イラストレーターやデザイナーのSNSで話題になり、水彩画やイラストの制作などに幅広く使用されている。

絵墨シリーズのラインアップは、2001年発売の「絵墨（えずみ）」「やまと絵墨」、2020年発売の「絵墨 明（みん）」、2022年発売の「絵墨 淡（たん）」。絵墨は赤系、黄系、緑系、青系、紫系、茶系の6色。「明」は絵墨よりも彩度領域が高く、ほのの暗さと鮮やかさを兼ね備えた色。「淡」は絵墨、明よりも明度領域が高く、ダークグレイシュな儚げな色。

《絵墨、明、淡の6色セット各1320円、やまと絵墨同9900円（税込）》

SNSで話題の「絵墨 淡」

ヤマト　Gomaのぬりえセット付

■水性なめらかクレヨンと人気の料理創作ユニットGomaとのコラボ商品「Gomaのぬりえセット付 水性なめらかクレヨン」は、ホビークラフト商品の水性クレヨン「カラリックス シルキースイスター」をベースに、人気の料理創作ユニットで現在は雑貨デザインなど幅広い領域で活躍するGomaの世界観が踏襲されたぬりえセット。クレヨンは鮮やかな発色となめらかな描き心地の他に表現方法が多彩で、本体は、1色ごとにホルダーに入った繰り出し式。

セット内容は、12色のクレヨン、ストーリー仕立てのタイプとシールを貼って仕上げるワークブックタイプのぬりえ、様々な型に抜かれたシール。

《2750円（税込）》

水性なめらかックレヨン

多数のファンで賑わう

○…デザインフィル…○

TOUCH&FLOWが10周年

株式会社デザインフィル（会田一郎社長、東京都）は、同社が運営するステーショナリーブランド「TOUCH&FLOW（タッチアンドフロー）」のブランド創設10周年を記念したイベント「10th Anniversary Fair」を、12月4日～1月7日まで、東京・中央区の「タッチアンドフロー日本橋髙島屋S．C．店」、公式オンラインショップで開催。

店内のギャラリースペースで開催されている10周年の記念イベントは、10年の歩みやオリジナル製品のこだわりなどを紹介したパネル展示、ユーザーの愛用品やお気に入り商品の紹介、30人の作家から贈られた手書きのお祝いメッセージの紹介など、同ブランドのファンに応える多彩な企画を用意。店頭に用意した無料で捺せる記念スタンプも好評。

10周年記念限定商品では、2014年に誕生のレザーカバーのデザインを踏襲したプライドルレザー仕立てのノート&ダイアリー用レザーカバー、スピンドット柄のノート、30柄からよりどり5冊を選べるジョッターメモ、オンラインショップ限定のアーティストスタンプなどを用意。このうち、アーティストスタンプはオンラインショップ発売開始後30分で完売する人気となった。

ブランド創設10周年を機に、今後は「創作を思い出す場」をブランドコンセプトとして、書くからクラフトやアートなどの領域へと広げ、手を動かす喜びや、そこから生まれる創作物、その先にある幸せを提供し続ける店、ブランドを目指す。

同社は、「ステーショナリーこそが日常を豊かにする文化創造のための道具」として、2014年12月に蔦屋書店を中核とした生活提案型商業施設「湘南T-SITE」に、手書きを楽しむ大人のためのステーショナリーショップ「TOUCH&FLOW」を展開、同時にオリジナル製品の販売を開始した。ブランドロゴの「コマ（独楽）」には、人々の暮らしをどんな時も楽しくするものでありたいという思いを込めている。10周年キーグラフィックは「コマ」が回転する「スピンドット」を用い、店内のポスターやラッピングペーパー、限定アイテムに使用した。

「日本橋髙島屋S．C．店」は2018年9月にオープン。47坪の売場に試し書きテーブルや海外買い付けのグリーティングカードを集めた4面のカードタワー、文化を発信するギャラリースペース、クラフト作家の選りすぐりを集めた雑貨コーナーを展開。客層は40～50歳代の女性客が中心で、リピーターも多く、文具好きのスタッフとの距離感も近い。インスタライブの視聴数はミドリブランドを上回る。

㊤タッチアンドフロー日本橋髙島屋S．C．店㊦10周年記念イベント

LIHIT LAB.　新製品35品番を発表

東西でアバンティフェア

株式会社LIHIT LAB.（田中宏和社長、大阪市）は、11月19日～27日、東京・日本橋の東京支店、12月2～6日、大阪・中央区の大阪本社で、「Avanti2025新製品展示会」を開催した。来場は事前予約制で、東京会場482人、大阪会場317人の合計799人の来場した。

今回は12月から来春に向けて発売する新製品35品番77SKUを発表。書き置き御朱印の収納に適したプロピレン製ポケットタイプの御朱印帳や男子学生に人気の高級筆記具の収納にアプローチした機能ペンケースなど、新たなニーズをとらえて提案した新商品を多数発表、注目を集めた。

「書き置き用御朱印帳」は書き置きタイプの御朱印を収納できる水に強いポリプロピレン製ポケットタイプの御朱印帳。じゃばらタイプのポケットなので、広げると御朱印を一覧することができる。うら表紙には拝観券などが入るオープンポケット付き。日本伝統の意味合いを持った柄や色で展開。表紙デザインは3柄、価格（税込）は11P（最大収容枚数22枚）1320円、23P（同46枚）1980円。

また、表面に撥水布を使用した「御朱印ポーチ」もラインアップ。3色展開。価格（税込）は2200円。

御朱印ブームが続く中、混雑の緩和や感染症対策などから紙に書いた書き置き御朱印を取り扱う寺社が増えている。また、切り絵や刺しゅうなど、それぞれの寺社が個性を出した書き置き御朱印の人気も高まっており、今後さらなる需要が見込まれるという。

多数の来場者で賑わうフェア（大阪会場）

書き置き用御朱印帳

西日本の専門店ネットワーク オエステ会

今注目の新製品＆コト10選

石丸文行堂本店

長崎県長崎市浜町8番32号

■「ランコントル万年筆 第3弾」（セーラー万年筆）
セーラー独自の技術で実現したシリーズ。第3弾は個体差が大きくコントラストと透明感のあるマーブル模様が特徴。

■「ペリカン　クラシックM200ゴールデンラピス万年筆」
「クラシック万年筆」をベースとした限定シリーズ。ラピスラズリカラーが美しい。

■「岩下の新生姜ガラスペン」
石丸文行堂と栃木の食品メーカー「岩下食品」とのコラボ第2弾。新生姜そのまんまなガラスペン。

■「ピエールカルダン猫のガラスペン iMeow」
さまざまな猫と色味をかけ合わせた透明感のあるガラスペン。猫好きのギフトにおすすめ。

■「フェリスホイールプレス タイズオブミダス ラメ入」
カナダ発の文具ブランドのラメ入りインク。ボトルはインテリアとしても見惚れる美しさ。

■「iroshizuku mini　色彩雫　六花」（パイロット）
情緒感あふれる日本の情景をテーマにした色彩雫の新色。雪の結晶をイメージした六花は大人気。

■「飾り原稿用紙ノート」（あたぼう）
飾り原稿用紙をノート化 。中村印刷所の水平開きノートの製本方法を取り入れ、文字を書きやすい。

■「とうだいノート 昼・夜」（九ポ堂）
波を罫線に見立て波間に文字を書くノート。A5より小さくどこにでも持ち歩きたくなる。

■「ぬり絵じゃないぬりたくり絵ポストカード（とのりむ編）」（ノウト）
水を弾くインクで柄を印刷することで、水性インクを塗ると、下から柄が浮かび上がる。

■「限定ラバースタンプゆるペンギンとインク瓶」（RiraRiraはんこ）
当店限定販売のペンギンのラバースタンプ。ボトルの部分にインクで色を塗れば色見本になる。

店舗掲示板

（お知らせ・イベント情報）

■「長与店」では人気の日用雑貨マーナのポップアップイベントを開催。

■毎週金曜日の昼12時からランチタイムインスタライブ配信。本店やオンラインストアで購入できるおすすめアイテムを紹介しています。インスタアカウントは @ishimarubun